

昭和 33 年 12 月 25 日第 3 種郵便物認可
令和 3 年 4 月 1 発行 1、4、7、10 月 1 日発行
KENCHIKU SHIZUOKA

建築静岡

Kenchiku Shizuoka

春号

2021 Spring No.676

KENCHIKU SHIZUOKA
Public relations
magazine

KENCHIKU SHIZUOKA



■特集
春華堂
本社複合施設
「SWEETS BANK」



公益社団法人静岡県建築士会
Shizuoka Association of Architects & Building Engineers
<http://www.shizu-shikai.com>

■春華堂

POP UP STORE KANDA から SWEETS BANK へ



春華堂

POP UP STORE KANDA

既存の神田売店の取り壊しに伴う仮設店舗としてオープンした期間限定店です。本社の倉庫の代わりとして最近まで使用されていた国鉄払い下げの貨車をケーキ箱に見立て、それをつなげて店舗が形成されています。仮店舗とは思えない秀逸なデザインで評判となっていました。今回の「SWEETS BANK」竣工にともない惜しくも閉店となります。

閉店後の利用方法は現在検討中です。

書籍紹介

事例で読み解く

住まいを年金化する方法

日本のリバースモーゲージ

著者／倉田剛 NPO 法人リバースモーゲージ推進機構

長生きする人、短命な家、先細る公的年金。この不揃いで、不経済な関係を解き明かす。人生 100 年の「住まいと暮らし」の啓発書。人生 100 年時代のスマートな老後をデザインする。

住まいと暮らしのコスト・バランスを探る。「稼げる住まい」を創る。リバースモーゲージで「空き家」を残さない。戸建住宅とマンションのコスパを検討する。これからのお年寄りの人も、すでにお年寄りを持っている人も「目からウロコ」の必読書。

単行本・Kindle 版 - ¥2,640 書店・Amazon で購入できます。

事例で読み解く
住まいを
年金化する方法
日本のリバースモーゲージ



倉田 剛 Kura Taro

NPO法人リバースモーゲージ推進機構

The Pension of Housing
Reverse Mortgages in Japan

著者

静岡こだわりの品

春華堂

うなぎパイシリーズ

長年にわたって親しまれている浜松銘菓。
うなぎパイ職人手わざのパイと秘伝のタ
レは真似のできない逸品です。



うなぎパイ



うなぎパイ ミニ



うなぎパイナッツ入り



うなぎパイ V.S.O.P.



しらすパイ



うなぎパイ詰合せ

Contents

■表紙裏 POP UP STORE KANDA から SWEETS BANK へ

1 目次

■特集

2 春華堂 本社複合施設「スイーツバンク」

広報情報委員会 山口知己

■行政情報

7 プロジェクト「TOUKAI (東海・倒壊) -0 (ゼロ)」

静岡県くらし・環境部建築住宅局 建築安全推進課長 鈴木義彦

■シリーズ

8 まちづくり会議報告

景観整備機構・まちづくり委員会委員長 塩見寛

■コラム

9 コーヒーブレイク

“YouTube “ 「タカチャッポ／西部ブロック」
“見えるもの・見えないもの “ 「古い考えの人／中部ブロック」

■活動報告

10 建築士会東海北陸ブロック会 令和2年度 ブロック七尾大会

本会青年企画委員長 加茂 潤之

■連載

11 しづおか木造塾 第4回講座

しづおか木造塾委員会 山下晋一、早津和之

■技術レポート

12 超高機能保護被覆工法アロンウォール

東亜合成グループ アロン化成株式会社

■シリーズ

14 ハイブリッド社会に生きる

住宅資産研究所 倉田剛

■シリーズ

15 景観整備機構【瓦版】 第94号

中部ブロック清水地区 木村精治

■お知らせ、編集後記

16 事務局からのお知らせ、入退会者

編集後記・ご意見募集

地盤調査からコンクリート杭・PC基礎の
製造・施工まで対応

目立たない安心を お届けします

詳しくは、ホームページで▶ 野村商店
www.nomuragroup.com



株式会社
野村商店

伊東営業所 TEL.0557-45-2245

伊豆南営業所 TEL.0558-22-3655

熱海営業所 TEL.0557-82-1244

伊豆中央営業所 TEL.0558-76-3114

御殿場営業所 TEL.0550-83-1306

静岡営業所 TEL.054-284-3461

基礎事業部 TEL.054-284-3461

浜松営業所 TEL.053-422-3636



春華堂 「SWEETS BANK」

■本社複合施設



■本社複合施設「SWEETS BANK」

「うなぎパイ」を販売する浜松の「春華堂」（浜松市中区神田町）が2021年4月に本社複合施設「SWEETS BANK」を開業した。創業者・山崎芳蔵氏が露天式の店を始めた1887年（明治20年）から創業134年。同地にあった工場の老朽化に伴い新社屋の建て替えを計画、2013年から8年の期間をかけてついに完成した。見学可能なうなぎパイ工場「うなぎパイファクトリー」（西区大久保町748-51）、新しいお菓子文化とスタイルを発信していく提案型スイーツコミュニティー「nicoe」（浜北区染地台6-7-11）に続く3つ目の施設となり、“記録より記憶に残る施設”を目指し運用されていきます。



■建物概要

設計：株式会社日建設計、株式会社丹青社

構造：鉄骨造一部 S R C 造 2 階建

面積：北棟－1864.39 m²、南棟－782.64 m²



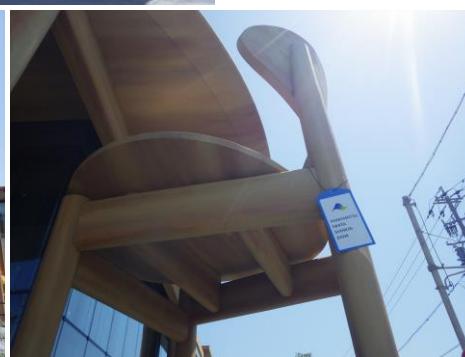
■こだわり続けた長期戦

計画をスタートさせたのは約 8 年前、当初の予定では完成は 4 年前の 2017 年。実に倍の期間を費やしたビックプロジェクトです。とことんリアルを追求し細部までこだわりぬいた妥協せぬ思いが「計画延期」「工事中断」までもを乗り越えて一つの建築となりました。



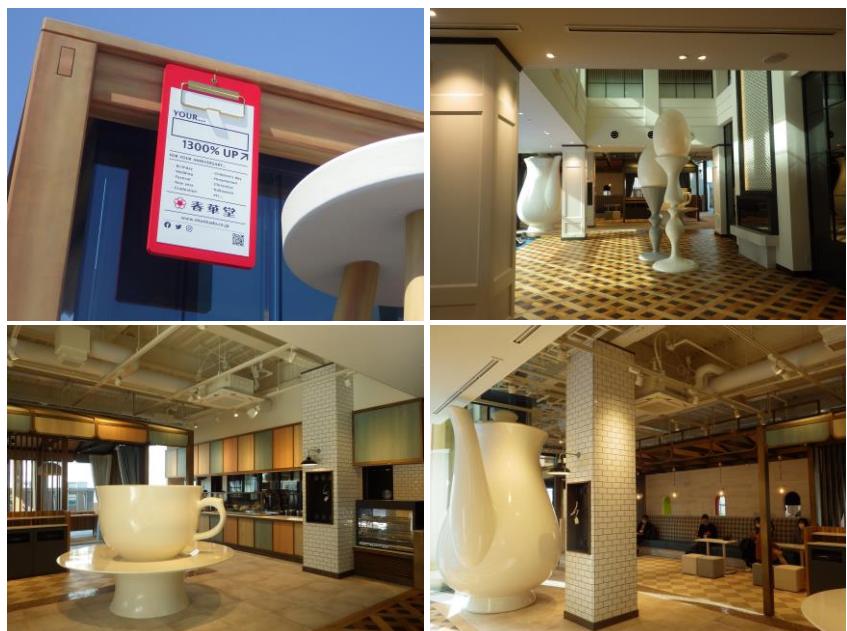
■迷走した設計プラン

春華堂自らが迷走期と表現するほどにいくつものプランが作られてはボツになるをという事を繰り返しました。設計のキーワードは“記念日”、“団らん”や“イチゴハウス”から“天空の城とか動く城”などころころと変わる要望に、設計を担当した日建設計からは様々なイメージが提出されました。「世の中にはないものを」、そしてついに巨大な家具の世界に入り込んでいく“机と椅子”というコンセプトが定まりました。「こんなにダメ出しをくらったのは初めて」と設計に言わしめるほどこだわり続けた長い道のりの末の答えでした。



■1300%

机（建物）正面にかかる春華堂のロゴの入った赤い伝票クリップには1300%UPの文字が書かれている。これはテーブルや椅子やスツール、内外部に多数配置されているポットやカップ等の小物、設備を隠すためのラッピング類の総てが実物の13倍のスケールにて作られている事を意味している。テーブルには木組みのほぞ部分や脚の調整アジャスターが、そして徹底的に追求し再現されているリアルな塗装を見ていると、施主の強い思い、に答える設計者の本気のこだわり、それを実現する施工者の意地が強く感じられる。

**■まさかの工事延期を決断**

リアルへの追及はついに「工事の延期」へつながってしまう。着工直前に行われた会議で“テーブルの脚の中間に“梁”あると足が入らないのでは？そもそも家具ってどんな構造なのか？”もう着工が決まったにも関わらず家具業者に社員が出向き勉強する事に。そこで細部の突き詰めが足らないという思いが沸き上がってしまったのだ。着工目前での工事延期など前代未聞の事だ。

“座面や背もたれは直線的ではなく人の身体に合わせたカーブになっている”“脚の太さは均一になってはいない”“外壁をガラスにして位置を引っ込めれば空間のように見えるのでは”徹底的に細部へこだわりそれを設計に反映し変更を行っていく。前出の外壁のリアルな塗装も、シート貼りでは13倍のリアリティーを再現出来ないのではとの考え方から決定された。工事延期により確かに時間を犠牲に、しかしそれ以上のものを得ることができた。





■浜松への想い

駐車場から見える巨大なショッピングバック。“家族の団らんの時間”を象徴するダイニングテーブルと椅子の建物。まるで自分が小人になったような非日常とワクワクが始まります。巨大なテーブルの間を進み建物に入ると、1階はテーマパークの様なカフェ&ベーカリーが訪れる人々を楽しませます。2階には本社機能に加え社員の為のキッチンや和室の休憩室など、社員の福利厚生を向上し、業務の合理化も実現させています。信用金庫との連携によって地元企業のマッチングの橋渡し、地域イベントの貸しスペースとしての活用をすることで、地域のランドマーク的な存在として地元の人々に利用され愛される施設に、街づくりを通じ浜松の新しい観光名所として地方の創生にも繋げたいとの想いが感じられます

■グーグル映え

上の写真は1/13スケールの模型、つまり実際の人間のスケールに合わせたものです。この模型のように建物本体の屋上もテーブルの色に合わせて塗装されています。また地上からは見えにくい所にある給水設備や空調設備などもパッケージ等で念入りに装飾されています。これは上空からの目線でもテーブルや椅子が置かれている様に見えるようにと考えられました。完成後にグーグルアースで見た時にすら人々の目を引くよう意識した設計です。建物内外はインスタで、そして上空からはグーグルアースで“映え”を追求しました。



■食器のモニュメント

建物の外部や内部のいたる所に大きな食器が配置されています。ティーポットやコーヒーカップ等々。なんとカップの中を覗き込むと、しっかりとコーヒーまで注がれています。



■meetingroom ツノがたつ

お菓子作りや金融教室等様々なイベントやワークショップに利用したり、少人数のパーティー等へのレンタルスペースに使用したり多目的に使用されます。

左：窓の外にいる大きな赤い豚「ピギー」

中・右：キッチンのあるスペースです



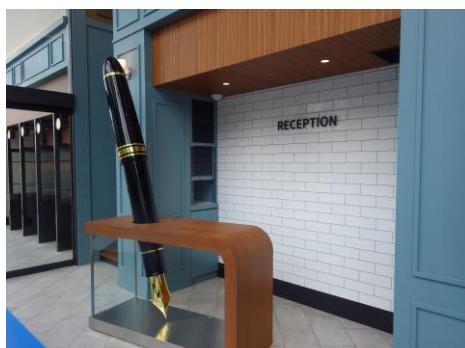
■浜松いわた信用金庫森田支店

スイーツバンク建設に伴い近隣の浜松市中区森田町にあった“浜松いわた信用金庫森田支店”も春華堂敷地内の南棟に移転併設します。春華堂と浜松いわた信用金庫が一体となって設計されており、既存にとらわれないテーマパークの様なデザインの銀行となっています。

右上：ATMコーナー

左下：レセプション、中下：カウンター、

右下：相談カウンター





プロジェクトの概要

プロジェクト「TOUKAI-I-O」は、1995年に発生した兵庫県南部地震で被害が集中した1981年以前の旧耐震基準の木造住宅を耐震化する事業で、平成13年度にスタートした。

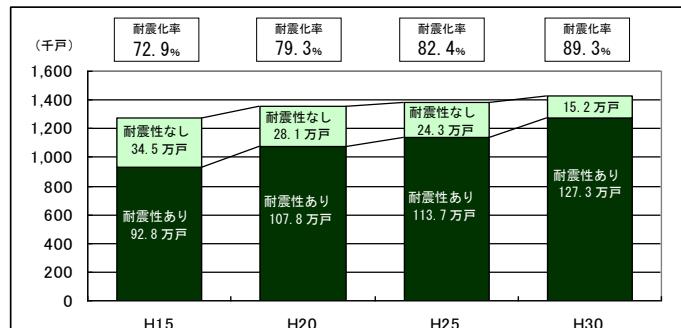
想定される巨大地震による建物の倒壊から県民の命を守るため、全国に先駆けて、無料の耐震診断、耐震補強助成等、県と市町が一体になって推進してきた。

耐震化率と補助実績

住宅の耐震化率は平成15年の72.9%が平成30年には89.3%となり、着実に耐震化は進んでいるものの令和2年度末の目標としていた95%には達していない。

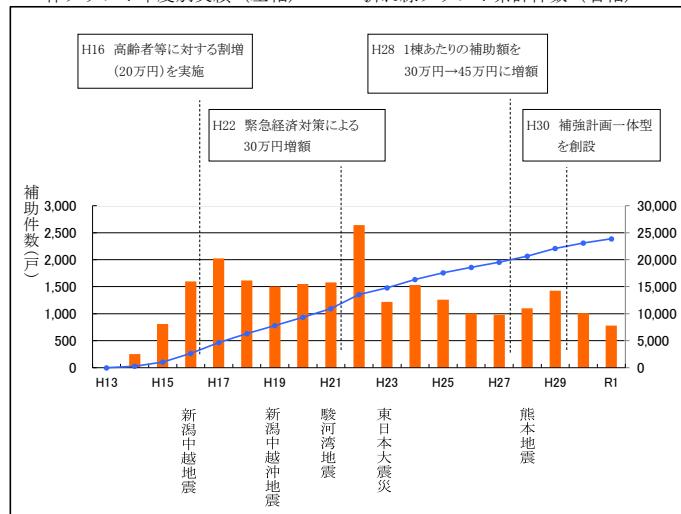
耐震補強補助実績の累計件数は令和2年度末で約2万5千件となっている。国内で発生した大規模地震や補助金額の増額等を契機に申請数が増えることもあったが、平成30年からは減少傾向にある。

耐震化率の推移



耐震補強補助実績

・棒グラフ：年度別実績（左軸） ・折れ線グラフ：累計件数（右軸）



課題

事業が始まって20年が経過しており、耐震化に意欲のあるほとんどの人は既に耐震化を終えている。また、対象となる昭和56年5月以前の旧耐震基準で建てられた住宅は、所有者の高齢化が進んでいることに加えて、その多くが築40年以上と、住宅自体の老朽化が進んでおり、耐震補強してまで住み続けるだけの価値が見出せない人が多く残っていると推測される。

今後の取組

県は令和3年から7年までの5年間、「静岡県耐震改修促進計画（第3期）」により耐震化を促進していく。県内に約140万戸ある住宅の耐震化率を、令和7年度に95%にすること等を目標としており、基本方針として、耐震補強の他にも建替えや住み替え、それも困難なら、倒壊する住宅から身を守る防災ベッドや耐震シェルターの設置というように、多様な選択肢を提案していく。

支援策としては、従来からの様々な助成制度を継続するほか、高齢者世帯等が住み替える際の移転費用助成を新たに創設した。また、昨年9月から、コロナ禍において重要性が高まっている地震後の在宅避難を可能にする耐震補強への助成額を、高齢者等の重症化リスクの高い方を対象に割り増していたが、令和3年度からは対象を全世帯に拡大した。

これらの支援策活用のために、従来からの行政職員による戸別訪問等に加え、自主防災組織や高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センター等と連携し、救助や避難を支える地域の身近な方からも耐震化を働きかけていく。

終わりに

20年続けたプロジェクト「TOUKAI-I-O」も、第3期計画の5年間が総仕上げの期間となる。耐震化していない10%の人たちのそれぞれの事情をしっかりと聞き取り、一人でも多くの人が耐震化に進んでいただくよう最後のお願いをしていく。

まちづくり会議の中止とこれからのまちづくり活動

景観整備機構・まちづくり委員会 委員長 塩見 寛

コロナ禍により、多くのまちづくり会議が中止に追い込まれている。

本会景観整備機構・まちづくり委員会が毎年開催している「SHEC によるまちづくり会議」は、R1 年度(R2.3.7 開催予定だった)、及び R2 年度、2 年続けて開催を中止した。

日本建築士会連合会は全国の単位士会のまちづくり委員長はじめ 200 人近くが集まる「全国まちづくり会議」を毎年 2 月に開催しているが、今年は 1 月 7 日に首都圏 1 都 3 県に緊急事態宣言が発令されたため、急遽中止となった。

今年は東日本大震災 10 年目の節目に当たるため、復興 10 年とまちづくり、教訓と備え、そして未来へをテーマに、宮城・女川で計画されていた。女川に集まるのは 30 人以内に絞り、あとは WEB によるオンライン参加として準備されていたのだが、緊急事態により中止せざるを得なかつた。

④

一方で、「全国町並みゼミ」がリアルとオンライン 2 本立てで、昨年 11 月 22 日茨城県桜川市真壁で開催された。

このゼミは、全国町並み保存連盟が毎年 1 回開催するもので、全国各地を巡っており今回第 43 回となっている。通常 3 日間にわたるスケジュールだが、今回は 13 時から 18 時 30 分の半日であった。

河東義之先生の基調講演「桜川市真壁の震災被害と復旧:課題と展望」、ビデオによる町並み紹介、パネルディスカッション、ここまでが YouTube による発信である。双方向ではないけれど、リアルタイム感が強く感じられる演出である。そのあと休憩をはさんで ZOOM による各地からの報告+懇親会となり、



私からも伊豆石文化探究会の活動をパワポで報告し、リアル参加と変わらない臨場感を味わった。

毎回参加費を徴収するが今回は運営に対する寄付金として 5 千円を振り込み、御礼としてお酒又は醤油等の食品が事前に送られてくる。ZOOM 参加者はそれらを飲食しながら参加するのであった。

このようなゼミは、新しいまちづくり会議の仕組み、方式を示したものではないかと感じている。WEB とリアルを使い分け、居ながらにして遠くの人たちと話しができる方式が各方面で取り入れられている。

⑤

コロナ禍は不安と不便と不測をもたらしているが、嘆いてばかりではいられない。ウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据え、何事も前に進めていかなければならない。

昨年 4 月、最初の緊急事態宣言が出され「ステイホーム」が叫ばれた。これ以降なにが一番変化したかというと、私の場合、「自分の時間」が多くなったということである。さらに 3 密回避が叫ばれるなか「家族の時間」が増えたような気がする。

⑥

このような変化の状況は何を意味しているのだろうか。これは、足元をしっかりと見つめ直してみなさいと言われているように感じるのだ。

まちづくりの視点で見れば、家族を基礎単位とした身近な生活の単位、地域コミュニティの大切さに改めて目を向ける必要があることを教示しているといえないか。もちろん広域の交流や連携は重要だが、それは新しい方式や仕組みで対応し、身近でリアルに対面できる人たちを大切に思う活動が、より重要視されると思われる所以である。



YouTube

タカチャッポ／西部ブロック

昨年からコロナ禍で自粛になり、はまったものがYouTubeを見る事である。YouTubeって、ありとあらゆるものが載っている。

その中で私は、ストリートピアノをやっている「ハラミちゃん」と言う女の子に興味を持った。

最近は、駅や公共施設にピアノが置いてある。そのピアノで、勝手にピアノを弾く事をストリートピアノと言うらしい。ベレー帽をちょこんとかぶり、ショルダーバックをかけている。

この女の子が、皆さん知っている曲を弾き語る。そのうちに、周りの人達が集ってきて聞き入っている。終われば拍手喝采。何とも気持ちの良い光景だ。

この女の子「ハラミちゃん」は、音大を出たらしい。だから、ピアノが上手い。4歳の頃からピアノを始めていたので、絶対音感だと言う。一度聴いたら、直ぐに頭の中に入るのである。だから、日常生活の何気ない音が音階になるのだそうだ。

ストリートピアノをやって、リクエストをもらったら直ぐに弾ける才能は凄いと思う。楽譜を見てピアノを演奏するのが、本来の姿だと思うがこれは型破りだ。昔はギター片手にスナックを廻って歌を披露する「流し」と言う方がいた。(今もあるのかな?) そのピアノ版ともいえる。流しの方は、歌が上手いのは当たり前でお客様のリクエストに全て答えなければいけない。

彼女も、最初はピアニストを目指していたが挫折したと言う。現代は、このようなYouTubeというものがあるおかげで自分をアピールする場ができる。今回は、彼女の事が気になってYouTubeを見ていたが、最近テレビにも出だしている。世の中人生どこで変わるか分からないものである。

見えるもの・見えないもの

古い考え方の人／中部ブロック

コロナ禍で時間的に余裕ができて、考えることができた。当たり前のことが当たり前では無かった。マスクやウエットティッシュが、どこにでも売っていたものが買えなくなった。物が豊かな世の中において信じられなかった。続いて、ウォシュレットが入らなくなった。えっ! 何で、在庫していないの? 流通の速さを実感した。そして、毎月ある会議も無くなり、あってもオンライン。今までの会議は無意味? あとは、普通にお酒を飲みに行けなくなったこと。まさか、当たり前の日常が1年間でこんなに変わるとは思ってもいなかつた。マスクをすることが当たり前になるなんて。でも、ちょっとびり助かっていることもある。花粉の時期を楽に過ごさせてもらっている。

コロナが流行り怖いなと思うが、過去も1918年から1920年にかけてスペイン風邪が流行している。なんとその時もマスク着用・うがいを呼び掛けている。そんな前から? でも、対策は今と変わらない? 不思議だなあと思うのは自分だけだろうか。これだけ文明が発達している世の中なのに、ワクチンや薬がすぐにできない。1年も、ウィルスという見えないものに脅かされている。見えないというもののといえば、電波も不思議だ。昔の人は電波など知らなかった。電波なんて見えないものを、今はその電波を使って映像を見ることができ、海外の人と喋れる。何て時代だと思うに違いない。そうなると逆に昔は、見えない竜や鬼、神様も見えていたのだろうと思えてくる。文明が発達してくると、人はいつの間にか見えるものしか信じなくなるのかもしれない。見えないウィルスは何かを教えようとしているのではないかと思いながら、毎日を見つめ直し、近くの神社へお参りするようになった。

どうか平和な世の中が続きますように!

静岡県建築関係規則集（平成30年度版）

静岡県建築士会では、静岡県建築関係規則集(平成30年度版)を販売しております。

この静岡県建築関係規則集は再版の予定が無い為、在庫限りの販売となります。

発行：公益社団法人静岡県建築士会 監修：静岡県 くらし・環境部 建築住宅局

《会員価格 4,000円(税込み)》 *発送も承ります。(有料)

《非会員価格 8,000円(税込み)》 詳細は当士会HPでご確認下さい。

販売場所：本会事務局または各ブロック事務局

本会事務局 TEL. (054) 254-9381 東部ブロック TEL. (055) 939-8210

中部ブロック TEL. (054) 204-6880 東部ブロック TEL. (053) 451-5166

書籍販売



青年企画委員会活動報告

建築士会東海北陸ブロック会 令和2年度 ブロック七尾大会

■本会青年企画委員長
加茂 潤之

令和3年2月20日（土）13:00～石川県七尾市 七尾商工会議所 にて開催されました。

今年度はコロナウイルス感染拡大を懸念し、計画段階より現地集合での開催は困難と判断し、ブロック大会初のWEB形式で行わされました。今回は石川県の実行委員メンバー・講演会講師・パネラーの方のみ現地へ赴いてディスカッションを行いました。

WEB開催ということで人数制限がなく、参加申し込み人数は約200名となりました。WEB開催の参加者には事前にYouTube配信URLと大会資料を配布し、当日各自視聴していただくという形です。

静岡県からの参加者は15名でした。



WEB配信での司会進行の様子

毎年行う全体会の各県活動報告に関しては、事前に作成した動画を流すという形になりました。活動報告動画の撮影に関しては各県担当者が試行錯誤をして仕上げていただいたと思います。初めての試み、コロナ禍でも出来ることをするというスタンスで今までにない素晴らしい活動報告が出来たと思っています。

今回のブロック大会は本当に今までにない大会でした。まず今年度の定例会議は一度も出向メンバーが顔を合わせられないという状況です。定例会はZOOMを基本としたなかで、大会が現地集合で出来るか否かという判断が迫られました。今までの流れからいくと現地に集まって開催するのが当たり前でしたので、現地で開催したいという根強い意見もある中、担当の石川県メンバーは準備に追われていたと思います。

ギリギリまで現地開催の線を残しつつ打合せを重ねていったわけですが、最終的には準備の関係上決断を迫られ現地での開催を断念。しかしながらこのご時世ですので、WEB開催という形をとったのは正解であったと思います。皆さん色々な意見もあるかと思いますが、参加者の人数枠が大幅に増えたことや、大きな会場を用意することが無くなったことでコストを削減できています。参加者からの参加登録費は見込めませんが、各県統一の参加登録費という形で徴収し、予算的にも成立していたと思います。これから時代色々な形が合っても良いのではないかと再確認させられました。

今期は移動の時間と費用がかからなかったのは大きかったです。私的な意見ですが、移動時間が少ない為、ギリギリまで仕事に打ち込めるのは助かりました。

静岡メンバーは西部の事務局にて参加しました。



こちらはZOOM定例会の様子です。



WEB配信をするにあたり撮影機材の多さに驚きました
機材はプロの業者さんに依頼をかけて行いました

全体会の後は分科会です。特に印象的であったのが第1部の講演会です。地方の魅力的な品をブランド化というテーマで、日蓮宗本證山妙法寺住職である高野誠鮮氏よりご講演頂きました。元市役所職員であった高野氏は、限界集落に陥った農村の再生プロジェクトに取り組み大成功、アイデアマンであり突拍子もない案を躊躇なく実行する行動力の持ち主です。地元のお米をブランド化し、ローマ法王への献上、ANAファーストクラスの機内食にするなど実績をもちます。書籍なども出版されている元スーパー公務員です。各県集まって参加していましたり自宅から参加したりと様々でした。



こちらは七尾大会現地の写真です

このような状況で、大会を開催してくださった石川県の皆様には感謝しています。本当に大変だったと思います。お疲れ様でした。

さて、我々静岡県も石川県さんの活動を見て学習していかなければなりません。令和3年度は研修事業を控えております。令和4年度にはブロック大会が開催されます。未来のことは誰にも分りませんが、その時代時代に合わせた大会を開催できるよう若手建築士一同協力していきたいと思います。

2020しづおか木造塾 第4講座（設計・SDGs）

しづおか木造塾委員会 山下 晋一、早津 和之

令和3年2月17日、初めてのオンライン講座

■第Ⅰ部 「昔と今を未来につなぐ」

建築家 松井 郁夫氏

□ 日本建築の本流は民家

伝統的な建築は、本来のモノ・自然のモノでできている。家づくりは28種の職人が関わり、技術が日本全国で体系化し継承され、美しい景観を創出。

"明治以後、失われてきたモノをどう埋めるか"が自分のテーマで、それが「ワークショップ木組」である。

伝統構法は本来の民家の木組みを残す木造をいい、大工は技術と技能を受け継ぎ、古民家を残す。

□ 4間四方の"田の字型プラン"で木の循環を

静岡・天竜での木の循環を考える。1本の木を6m、次に4m、3mに玉伐りする。6mを通し柱、4mを梁、3mを管柱に使う"田の字型プラン"ならば無駄なく木材を使い山へお金が還る木の循環を目指す。

□ 古民家再生と伝統構法の住宅設計

古民家の実測調査等で得た経験を活かし、古民家を再生。光を取り入れ、エアコン一つで暮らす改修。

床下エアコン1台で、HEAT20のG2に対応。

木組みの基本構造は、ねばり強い貫構造とフラットベット基礎にケミカルアンカーだけで留め、大きな揺れには滑らせる。

設計者は、職人との繋ぎ役で、設計はつくりこまなく、ガランドウの設計。

デザインとは、生活する人の立ち振る舞いが美しくなること。価格を透明にして、住まい手も公の意識を持つてもらい、いつか古民家になるような、美しいモノをつくろう！

■第Ⅱ部 「My SDGsをつくろう」

住宅技術評論家 南 雄三氏

□ SDGs（2016-2030）：社会・環境・経済の目標

今は何でもSDGsで語り合わなくてはいけない。17ゴールで169のターゲット（行動目標）。各ゴールはカラフルな色合い。「建設産業にとってのSDGs導入のためのガイドライン」は必読。いい会社や伸びる会社と判断されるとESG投資が行われる時代。日本のSDGs目標達成度は15位。（北欧が上位独占）

□ 環境問題に取り組む形の推移と各社の取組内容

公害⇒エコロジー⇒ロハス⇒省エネのエコ⇒SDGs

年配者は過去の環境問題を把握したうえで、SDGsに取り組んでいける。

"SDGsは先進国ツケ"で、環境問題から社会問題に入ったという。SDGsを達成すれば「持続可能な社会」が実現する。

まず各自やることは、17のゴールを理解して、社内での今までの働き方、経営、社屋、暮らしを後付けマッピング（既に実行）して、今後の社内のあり方を先付けマッピング（今後実行）で話し合う。

南雄三氏の御自宅や仕事をSDGsで紹介（高レジリエンス、パッシブな家、資産価値のある家、長寿命）

□ "SDGsの評価ツール"としてCASBEEを活用

建設業界はSDGsでは、まだ動いていないが今後変化する。CASBEEは活用されてこなかったが、今後、SDGsの評価ツールとしての機能を果たしていく。

既存住宅の断熱化を進めて、省エネにはならず、設備に頼るところが大きい。

（坂本雄三氏の弁を紹介）

技術レポート

アクリルゴム系外壁塗膜防水工法「アロンウォール」による建物の長寿命化について —平成31年版公共建築改修工事標準仕様書の掲載内容—

 東亜合成 グループ
アロン化成株式会社

1. はじめに

高度成長期に建設された公共建築物の多くが更新時期を迎え始めています。建て替えには多大なコストが必要なため、近年長寿命化改修として耐用年数を延ばす工事が増加しています。平成31年版公共建築改修工事標準仕様書(以下改修標仕と記述)に新たにアクリルゴム系外壁塗膜防水材が掲載されました。アクリルゴム系塗膜防水材は、汎用のアクリル樹脂塗料とは全く異なる材料です。アクリルゴム系外壁塗膜防水材は、公共・民間を問わず多くの建築物の新築・改修工事で40年以上に渡り使用されており、多くの実績があります。

当社は日本で初めて外壁に防水の必要性を提唱した東亜合成株式会社の販売部門として、普及に取り組んでおります。そこでアクリルゴム系外壁塗膜防水材の改修標仕への掲載について以下に概要をご紹介いたします。

2. 掲載概要

掲載箇所は4章外壁改修工事です。外壁改修塗り仕上げの種類として従来の各種仕上塗材塗りや塗料塗り、マスチック塗材塗りと共に「外壁塗膜防水材塗り」が掲載されました。なお外壁塗膜防水材の材質はJIS A 6021(建築用塗膜防水材)に規定されるアクリルゴム系のみとなっています。

外壁用塗膜防水材による改修は、既存の仕上塗材の改修だけでなく、コンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁、押出成形セメント板外壁、ALCパネル外壁等に適用することができます。

外壁用塗膜防水材の適用については、建築改修工事監理指針令和元年版上巻(以下監理指針と記述)にも、改修標仕の解説として様々な記述が掲載されており、中性化や塩害を抑制する保護機能を有していると記載されています。

3. アクリルゴム系外壁塗膜防水材の機能

当社のアクリルゴム系外壁塗膜防水工法“アロンウォール”は、公共施設の外壁に施工し39年経過後においても中性化深さは2mm(下地調整材が

中性化していないことから、施工前に中性化した)であり、優れた中性化防止性を発揮した例が確認されています。更に沖縄沿岸部におけるアロンウォールによる10年間の暴露試験結果はJASS5N(日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説鉄筋コンクリート工事)にも引用されており、優れた塩害防止性を有することも実証しております。

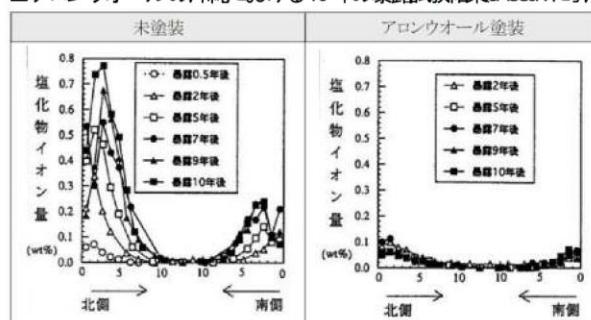


■岡山県公共施設外壁(39年経過)



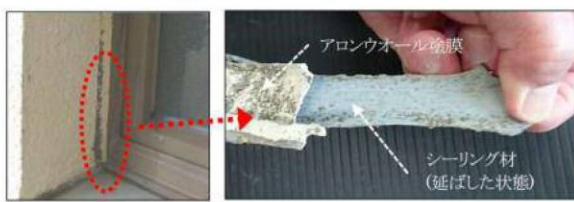
■岡山県公共施設外壁(39年経過)で採取したコア
【引用資料】アロンウォール テクニカルレポート No.43

■アロンウォールの沖縄における10年の暴露結果(JASS5Nに引用)



【引用資料】日本建築学会構造系論文集 No. 487, pp. 11~19, 1996年9月

改修標仕ではシーリング面に外壁用塗膜防水材仕上げを行うことが記載されており、監理指針には目地のシーリング材を被覆することにより一体化した面防水としてシーリング材を保護し、その耐久性を高めることができると記されています。アロンウォールでは、アロンウォールをシーリング材上に施工し25年経過後に採取したシーリング材が十分な柔軟性を保持していることを確認し実証しております。(次頁写真)



■サッシ周りのシーリング材を採取(25年経過)伸び率1000%
【引用資料】アロンウォール テクニカルレポート No.42

外壁塗膜防水材塗りには他の仕上塗材にはないひび割れ処理に関する記述があります。特記により 0.2mm 以上 2.0mm 未満のひび割れの処理を下地拳動緩衝材の塗りで実施できることが記載されています。従来のUカットシール材充填工法も用いる方法に比べ、経年でのシーリング材の痩せによる仕上げへの影響を防ぐことができます。

■各種ひび割れ処理方法のひび割れ追従性

ひび割れ処理方法	処理材の種類	ゼロスパンテンション 伸び量 (mm)
アロンウォール塗膜	ポリマーセメント モルタル	7 [2mm モルタル破断]
シーリング材充填 モルタル板 25 mm	弹性エポキシ樹脂 シーリング材	10 [3mm 弹性エポキシ剥離]
アロンウォール塗膜	ポリウレタン シーリング材	20 [6mm 塗膜剥離]
シーリング材充填 モルタル	弹性エポキシ樹脂	7 [2mm 弹性エポキシ剥離]
アロンウォール塗膜	ポリウレタン シーリング材	8 [2mm シーリング材剥離]
アロンウォール塗膜	アロンコート ST (0.7kg/m ² 増塗り)	9
アロンウォール SH (0.7kg/m ² 増塗り)	アロンウォール SH	27

*アロンウォール塗膜：アロン水性プライマー(0.1kg/m²)+アロンコート ST(1.7kg/m²)+アロンウォール FC(DX)A カラー(0.3kg/m²)

上表のように、Uカットシール材充填工法で改修し、アロンウォールを塗布した時のゼロスパンテンション伸び量は8~20mmであるのに対して、当社の下地拳動緩衝材「アロンウォール SH」を使用した場合には、27mmと同等以上のひび割れ追従性を発揮します。なお、Uカットシール材充填工法は、経年でのシーリング材のやせによる凹みを防止するために、シーリング材上にポリマーセメントモルタルを充填するのが一般的であり、これによりゼロスパンテンション伸び量はより小さくなることが分かります(20mmから8mmに低下します)。

更に、アロンウォール SHは、Uカット時に発生する騒音や粉じん(石綿含有下地の場合には石綿飛散)もなく、居ながら工事が前提の改修工事に適し

た優れたひび割れ部の処理方法です。躯体を削る必要がないため、石綿を含む仕上塗材が施工されている外壁の改修には特に有効です。

改修標仕にはプライマー、下地拳動緩衝材、防水材、模様材及び外壁用仕上塗料は、同一製造所の製品とすることも定められています。監理指針にはその理由として、塗り重ねるそれぞれの材料の総合塗膜として性能を発揮するためと記されています。特に外壁塗膜防水材の機能を発揮するためにはまず防水材の膜厚の確保が必要であり、改修標仕には所要量の確認は単位面積当たりの使用量によることが記載されています。特に改修工事監理指針では工程ごとに行い、防水材の性能が膜厚により左右されるため、膜厚の代用特性として確認が必要であることが示されています。もちろん仕上がり状態、性能に影響を及ぼすピンホールの有無、各部の防水的な納まりの目視での確認も必要とされています。

さて外壁塗膜防水材を用いた改修は、従来の下地処理、下地調整を行った上で仕上塗材塗りを行う場合に比べ、躯体や劣化の状態によっては、同等のコストで施工できる可能性があります。当社の試算では浮き部補修は従来通りとし、シーリング材の全面打ち替えを、下地からの肌別れやひび割れを生じている一部に抑え、下地拳動緩衝材「アロンウォールSH」を用いたひび割れ処理を行い、既存仕上材の上に塗布する下地調整として全面に塗布する下地調整塗材を省き、シーリング目地部分も含めてアクリルゴム系外壁塗膜防水をアロンウォールで行った場合のコストを試算すると防水形複層仕上塗材を用いた従来の外壁改修工事とあまり変わらないことが分かりました。

4. おわりに

今回、改修標仕にアクリルゴム系外壁塗膜防水材が掲載されたことは、外壁を塗膜防水材で保護することにより躯体を保護し建物の長寿命化が可能であることが標準仕様として認められたことと理解できます。当社工法は公表されているデータにより躯体保護効果が確認、実証されております。

建物の長寿命化の有力な方法として今後益々ご活用頂きます様、お願い申しあげます。



倉田 剛（住宅資産研究所）
<著書>
「リバースモーゲージと住宅」日本評論社
「少子高齢化社会のライフスタイルと住宅」ミネルバ書房
「団塊世代とリバースモーゲージ」住宅新報社

著書紹介

『事例で読み解く「住まいを年金化する方法』』

倉田 剛*

「我々は、経済的な豊かさがもたらす成果の一つが、平穏で調和に満ちたアルカディア（理想郷）の生活であるよう、絶えず期待してきた。しかし現実はまさにその逆である。生活のペースは速まる一方であり、事実、生活は、まぎれもなく過熱化の一途をたどっている」。リンダー・B・ステファンの著書『時間革命—25時間への知戦』（1971）の一節である。

本著では、1960～1970年代の高度経済成長期の「時間」を経済的資源として捉えて、その利用密度と効果をさらに高めようとする目論見があり、それは「25時間への知的挑戦」であると副題に謳っている。本著では、「時間」を、限られた資源であり再生も蓄積も許さない絶対性資源であるとした視点は稿者と同一である。また経済的な豊かさが、理想郷の生活とは真逆のハイペースでハイテンションな日常を余儀なくさせるものであることも、われわれは体験的に共感できる。

ホフマン、エヴァは著書『時間』（2020）のなかで、「経済も沈滞していた貧しい状況下では、とにかく時間だけはたっぷりあるということ、『時は金なり』という価値観はおよそ根付かなかった。・・・私たちは人間である前に生物であり、それが私たちの存在を一時的なものにする第一条件である」と論述している。

リンダーとホフマンが掲げる「時間」は、生産性や密度、価値や期待などの面では対比的であり、その社会情勢や時代的背景の相違に因るものである。

翻って、本稿で考える「時間」とは、長き老後の「たっぷりな時間」であり、経済的資源としてではなくて、非生産性で不確実性な資源として論及している。人間は、例外なく終焉を迎える。人は一時的存在であり、その持ち時間に限定された生命体だからだ。この真理には、なぜか安堵感を抱く。長生きが必ずしも僥倖とは思えない厳しい現実を知っているからである。

人生100年時代は退職後も30～40年の歳月を生きる。そのたっぷりな時間的余裕が想定外の新たな不都合やジレンマをもたらすことに、私たちは狼狽している。最近の意識調査から読み取る高齢期の平均的な不安を、経済的不安、健康不安、そして介護不安の3つに集約できる。これらの生活不安は、生体的な「時間」の経過、すなわち「老い」のなせる業でもある。統計的にも明らかな実態として、人は80代後半辺りから認知症の発症率が上向いて、自立生活が難しくなり、介護サービスなど外部支援が日常的に必要になってくる。次の段階に進むとグル

ープホームや介護サービス付き施設に入所し、そこが終の棲家となったりもする。こうした展開を鑑みるとき、80代以降の「住まい」は「持家」である必要がなくなり、逆に「持家」に居住することが負担や足枷になるケースさえ懸念される。

拙著では、高齢期の「住まい（イエ）」と「住み手（ヒト）」の、耐用年数や寿命など時間的限界のギャップを注視している。イエが45年前後でヒトが86歳前後といった時間的ギャップが老後の生活不安をさらに深刻化させるリスクとなるからだ。ヒトよりもイエが短命な場合は、「建て替え」るか、「住み替え」する必要があり、その逆ならば「空き家」が残る。かつてのように3世代同居家族が当たり前の時代ならば、イエとヒトの時間的なギャップは世代間の継承（相続）で問題化しない。近年の未婚率や晩婚率の上昇、家族規模の縮小と核家族化、着実な長寿化等々が複雑に絡み合うから、平穏で充足感に満ちたかつての老後とは別の生活設計が必要になると、拙著は警告している。

長き老後を過ごすイエ、その長きがゆえに不足する力、老化で自立生活能力が減耗するヒト、この異種・異質な条件が形成するジレンマにはクリエイティブでアダプタブルな手立てが必要になる。最近になって、「住まいの年金化」であるリバースモーゲージやセール・リースバックなども、老後の経済的自立の手立ての一つとして認知されつつあるように感じている。

最後に、拙著の紹介に入ろう。本の構成は魚の骨格に似ている。頭部は出版動機、背骨が主題、肋骨が各章、尾びれが「まとめ」となる。拙著のバックボーンは、退職後の「経済的自立」であり、持家は「老後の生活資源」とする論点にある。第1章と第2章の事例の大半に稿者は係わっていて、その開示が出版の動機ともなった。第3章ではイエのコストパフォーマンスを検討した。イエのサステナビリティが、適正規模と適正構造、さらに適正技術から紡がれる“身の丈に合ったお手頃感（アフォーダビリティ）”にあると断じている。第4章と第5章では持家の多彩な利活用で老後の生活資金を調達するプランを提言した。第6章ではリバースモーゲージ全般を概説し、第7章ではアメリカの公的リバースモーゲージを利用して多額の負債を借り換えた日本人の事例を紹介した。終章では百歳社会の住まいと暮らしの方向性を予測して「結び」に代えた。

* 一級建築士、経営学博士（法政大学）、経営情報科学博士（愛知工業大学）、特定非営利活動法人リバースモーゲージ推進機構・理事長、住宅資産研究所・所長

「コロナ禍は、新たな取組につながる」

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済社会環境に甚大な影響が生じ、今までとは異なる暮らしや働き方が求められた。

現在のwithコロナにおいては、手洗い、マスク着用、3密回避の必須3点セットとなった。

そして、各家庭では巣籠りによるテレビ視聴が多くなり、食材、日常品等の宅配の増加など、働き方の新しいスタイルとして、テレワークやローテーション勤務、時差出勤、時短営業に変わった。

○ そうした生活様式の変化に伴い、住宅に求める条件の変化として、「仕事専用スペースがほしくなった」や「快適、ゆとりある居住空間」や「白物家電の需要」がより高まり、オフィス、店舗も例外ではなく、建物の内部空間の改善が喫緊の課題となっている。

また、オンライン活用が加速し、地方都市への移転、移住を促し、ワーケーションも出現した。

さらに、シャアリングエコノミーも物理的な共有を伴うモノ・スペースのシャアは減少し、ケアシェア、ビジネススキルシェアの利用は高まりつつある。

こうした背景の中、新型コロナウイルス感染症の収束後もテレワークを希望する割合は高く、テレワーク経験者は未経験者よりも、「ワークライフバランス」、「地方移住」、「職業選択・副業等」に関する意識が肯定的な方向に変化している。

○ 今回の新型コロナ感染症がワクチン接種等により、どのように収束していくかは現時点では定かではないが、Afterコロナにおいては、必須3点セットが全て必要にならない中で「ニューノーマル」への移行が進んでいくと言われている。

さらに、コロナ禍以前に考えられていた社会経済の潮流における地域や社会環境の変化は、新型コロナ感染の影響と相まって、地域の人口減少や少子高齢化、小世帯化の中で、地域はさらに、地域経済活動の低下や自治会、地域コミュニティの機能や活動を低下、休止においやり、地域内に空き家や空き地を増加させるとともに、都市のスponジ現象を一層際立たせている。気候変動に伴う大規模自然災害、巨大大地震や富士山噴火など大規模災害への対応としてのリスクマネジメントにも、避難場所等のコロナの感染症拡大防止の対



応も加わるようになった。

近年、新たにSDGsを達成する取組、経済の発展と社会的課題の解決を両立するSociety5.0の方針性が、コロナ禍で急速に実現化し始めている。

こうした状況の中、Afterコロナを意識したダイバーシティのまちづくりや居住空間のあり方、地域社会に顕在化してきた多様な課題に対し、県内地域密着型の建築士としての多様な関わりや役割の見直し、多様な連携の中で、今までとは違った発想や地域価値の創造が必要とされ、建築士の持つ柔軟な発想力やマッチング力、コーディネート力を発揮することのできる新たな取組やビジネスチャンスがきているともいえる。

「県建築士会パーサスの再定義が必要か？」

多くの地域が個性ある地方の創生を目指し、ICT等の技術革新を活用したまちづくりや、コンパクトシティ+ネットワークの都市構造が進む中で、コロナにも対応するテレワーク等を背景とした職住近接の都市構造への対応が求められている。

さらに、都市機能として、駅周辺に住宅、交流・滞在空間、保育・教育の場等の導入や住宅地にサテライトオフィスなど、こうした都市構造への変化等に柔軟に対応できるまちづくりを進めていく必要性がでてきている。

一方、歩いて楽しめる道路空間づくりや、まちなかの使用頻度の少ない駐車場等を活用したパークレットのウォーカブルなまちを目指す社会実験も始まり、歩くもりのストレス解消等としても期待できる。

こうした、コロナにも対応できる地域社会の取組が始まることで、今一度地域を見直しデータ化し、情報の見える化による地域住民との情報共有をするとともに、未来の地域・まちの姿を創造し、バックキャストして、想定外にも対応可能なインセンティブのあるポートフォリオ事業のまちづくりを考慮し、地域の特色を活かしたダイバーシティのまちづくりを進めていく時がきている。

こうした背景のなか、県建築士会のパーサス（存在意義）の再定義も必要になっていると感じる。

中部ブロック清水地区 木村 精治

◆編集後記

今回の特集は“静岡県の逸品”に関する記事です。コロナ禍で様々な制約があり大変な中、それでも元気に前進する形を示している人や企業がいます。それらの努力が、いずれは終わるであろう困難に向かい、そして乗り越えたその後に、さらに前に進んでいく原動力になる事は間違えありません。

今回特集した以外にもコロナのその先の可能性を探る人や企業、団体も多くあります。様々な変化を受け入れ乗り越え、以前にも増してより良い世の中を皆で目指して行く事が大切なと思いました。

編集長：広報情報委員山口知己

◆お知らせ、その他

取材協力・素材提供

- ・有限会社春華堂様
- ・
- ・

ご協力感謝いたします。

◆ご意見募集

静岡県建築士会広報情報委員では、広報誌「建築静岡」をより有益な情報源とするためのご意見、ご提案を募集しています。お名前、ブロック名をご記入の上、下記あてにFAXでお願いします。なお、いただきましたご意見は非公開とし、個々のご意見への直接回答は控えさせていただきます、ご了承下さい。

公益社団法人 静岡県建築士会
広報誌意見募集係 FAX 054-273-0478

◆広報情報委員会

担当役員：松下好宏 (中部)
立石昌江 (中部)
委員長：杉山真一 (中部)
副委員長：内山孝 (西部)
：鈴木忠 (東部)
委 員：
(東部) 三田芳之 ・ 塩見敏弘 ・ 長尾隆行
(中部) 小沼勝也 ・ 星野浩二 ・ 佐野真浩
(西部) 福田光宏 ・ 志茂野昌歳 ・ 山口知己
編集長：山口知己 (2021 Spring)

発行所：公益社団法人静岡県建築士会
〒420-0857 静岡市葵区昭和町9-5
第2大石ビル7階
TEL 054-254-9381 FAX 054-273-0478
<http://www.shizu-shikai.com>

印刷所：(有)橋本印刷所

◆事務局からのお知らせ

◇年会費の納入について◇

令和3年度の年会費の納入期日は5月27日（木）です。

年会費納入手順は

- ・口座振替（引落）の会員様は前日までに銀行口座をご準備ください。
- ・お振込の会員様は5月27日（木）までに土会の指定口座にお振込ください。

※振込の際は、会員番号を記載し振込手数料はご負担ください。

お問い合わせは、本会事務局・各ブロック事務局まで。

本会 事務局：054-254-9381 東部ブロック：055-939-8210
中部ブロック：054-204-6880 西部ブロック：053-451-5166

※会費及び入会金に関する規程

第5条第2項により会員様は、会費の年額を毎年5月27日（その日が土・日又は祝日に当たるときは翌営業日）までに納入しなければならないことになっています。

会員数 令和3年3月17日現在

■正会員	1,063
■賛助会員	149
■合 計	1,212

入会者

■正会員 3名

沼津：北村 武留 1級 S53生 株式会社平成建設
清水：石崎 哲也 1級 S55生 一級建築士事務所石崎建築設計
静岡：糟屋 豪志 1級 糟屋建築研究室

退会者

■正会員 26名

■賛助会員 2社

◆事務局から重要なお知らせ 「新型コロナウイルス感染予防対策 ガイドラインについて」

会員の皆様には、日頃から静岡県建築士会の会務運営につきまして、御支援・御協力を頂いておりますことを感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインを建築士会HPの新着情報に掲載しております。ガイドラインはその時の状況に応じて、変更致します。HPに掲載されているものが、最新のガイドラインになりますので、ご確認の上、事業の実施をお願い致します。

広告募集中

建築静岡に広告を掲載してみませんか？

お問い合わせ先
公益社団法人 静岡県建築士会 本会事務局
電話：054-254-9381 FAX：054-273-0478
Mail: honkai@shizu-shikai.com

改正建築物省エネ法が 令和3年4月1日に施行されました

(2年以内施行分)



- 1 省エネ基準への適合義務の対象を 300 m²以上の非住宅建築物に拡大 注)適合判定通知書がなければ確認済証は交付されません。
- 2 小規模住宅・建築物の省エネ性能に係る説明義務制度の創設

確認申請に併せて 省エネ適判の申請も まちづくりセンターをご利用ください

●「省エネ適合性判定」と「建築確認審査」を並行して審査します。 ●建築基準法の完了検査において省エネ基準の検査を行います。



一般財団法人

静岡県建築住宅まちづくりセンター

ご相談・お問い合わせ

住宅部 省エネ課 ☎ 054-202-5581

露出型弾性固定柱脚工法
ベースパック[®]



SC杭用 桟頭接合工法
クラウンパイルアンカー[®]



鉄骨梁貫通孔補強工法
OSリング[®]
One Side Ring



お問い合わせ先

 **okabe** 岡部株式会社 ベースパック事業部
〒420-0035 静岡市葵区七間町 18-1 PIVOT 静岡 301
TEL 054-204-7282 FAX 054-204-7288
URL: <http://www.b-pack.net/>

◆ 令和3年度 地域文化財専門家ステップアップ研修開催のお知らせです ◆

2021年9月4日（土） 一日集中講座

後藤治先生による、「論より実践 建築修復学」（研修会タイトル仮）

後藤治先生の、歴史的建造物の保存修復を学ぶ本が2019年に出版されました。
歴史的建造物の修復に対する社会の理解と興味が着実に高まっている時期に、
まる一日じっくり学びませんか。

対象：「地域文化財専門家」育成研修の修了者及びS H E C構成員
または、歴史的建築に関心のある建築士

会場、受講料等の詳細は建築士会HPでご確認下さい。

“建設業界の発展”のために協同できること

私たち総合資格学院は、建設業界の振興を目的とし、様々ななかたちで全国の建設系団体や地方自治体を協同させていただいております。その活動は設計展の支援から、講演会の支援や当学院合格者の入会斡旋まで多岐にわたりますが、ここではその取り組みの一部をご紹介させていただきます。

今後も、No.1スクールの自覚を持ち、この様な活動を通じて建設業界に貢献して参りますので、各種イベントや企画に関するサポート等については、お気軽に最寄りの当学院までご連絡くださいますよう、お願ひ申し上げます。

大連理工大学建築・芸術学院他× 総合資格学院

21世紀アジア地域に向けた新しい建築「伊東豊雄氏 講演会」

平成29年9月22日。大連理工大学建築・芸術学院、大連民族大学設計学院との共同で「21世紀アジアの地域に向けた新しい建築」と題したイベントが中国の大連で開催されました。このシンポジウムでは、当学院が長年にわたり活動を支援している伊東豊雄氏の基調講演をはじめ、中国の著名建築家や大学教授の方々をゲストに迎えたクロストークなどが行なわれ、日中合同で実現した有意義なイベントは大きな反響と共に幕を閉じました。

一社) 東京建築士会 × 総合資格学院

住宅課題賞2019
[建築系大学住宅課題優秀作品展]

東京建築士会の主催による設計展「住宅課題賞」は、建築を学ぶ学生のみなさんが、建築の基本である住宅の設計を通して建築への興味とその社会的な意義の認識を深めるとともに、大学間・第一線の建築士との交流によって、建築教育の情報交換と向上を図る目的で開催されています。当学院が発行する本展記録集では、各校から選出された52作品すべてを各4ページで紹介。また、建築教育関係者の情報交換の場となるよう課題文を展示する、という設計展の趣旨を作品集においても踏襲し、作品紹介と一緒に課題文や指導教員のコメントも併せて掲載しています。



総合資格学院は「日本一」の合格実績!

令和2年度 1級建築士 学科・設計製図試験

全国 ストレート合格者占有率

全国ストレート合格者
1,809名中/
当学院当年度受講生
1,099名
(令和2年12月25日現在)

60.8%

令和2年度 設備設計1級建築士講習 修了考査

当学院基準達成当年度受講生修了率

8割出席・
8割宿題提出
12名中/
修了者9名
(令和3年1月13日現在)

75.0%↑
全国修了率
42.8%
その差
32.2%

令和2年度 構造設計1級建築士講習 修了考査

当学院基準達成当年度受講生修了率

8割出席・
8割宿題提出
25名中/
修了者16名
(令和3年1月13日現在)

64.0%↑
全国修了率
36.1%
その差
27.9%

●令和2年度 1級建築士設計製図試験 全国合格者3,796名中 / 当学院当年度受講生2,041名 全国合格者占有率53.8%
※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。※全国合格者数：全国ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。※学科・製図ストレート合格者とは、令和2年度1級建築士学科試験に合格し、令和2年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受講生、教材購入者、無料の復習提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

1級・2級 建築士 構造設計1級建築士 機構設計1級建築士 建築設備士 1級・2級 管工事施工管理技士 1級・2級 建築施工管理技士 1級・2級 土木施工管理技士 1級 施工管理技士 1級 土地建物取引士 インテリア コーディネーター 間貸不動産 経営管理士



総合資格学院

全国
約100拠点



学院長 岸 隆司 総合資格 検索 静岡校ページ

[スクールサイト] www.shikaku.co.jp [ヨーボレートサイト] www.sogoshikaku.co.jp

Twitter → @shikaku_sogo LINE → 「総合資格学院」 Facebook → 「総合資格 fb」で検索!

静岡県建築士会会員様
【受講料】特別割引あり

詳しくは下記最寄校までご連絡ください



静岡市葵区伝馬町 9-1 河村ビル 5F
TEL:054-275-3311 FAX:054-275-3301



浜松市中区中央 3-9-3 UNビル 2F
TEL:053-456-2211 FAX:053-456-2261



沼津市高島町 6-3 アゼル沼津ビル 1F
TEL:055-930-2621 FAX:055-930-2622

公益社団法人静岡県建築士会

定価 1部 270 円、送料 1部 100 円
会員の方には購読料として会費の中に含まれています。

建築静岡 Spring 2021

第 676 号 令和 3 年 4 月 1 日発行
昭和 33 年 12 月 25 日第 3 種郵便物認可

発行所 公益社団法人静岡県建築士会
静岡市葵区昭和町 9-5 第 2 大石ビル 7 階

T E L 054-254-9381
印刷所 (有)橋本印刷所